

V. 特記事項

1. ナショナル・ウィーク

キャンパスの国際化を推進する取り組みの一つとして、平成 23 (2011) 年度からナショナル・ウィークを大学と合同で開催している。これは、英語圏などのバラエティーに富んだ文化や芸術を主に学内で紹介するイベントであり、毎年テーマとなる国や地域を変え、学生が一から企画・運営し、教員は支援する形で実施している。イベントには、本学学生のほか、大学の学部生や留学生、地域住民など多数の参加があり、学生にとって有意義な体験学習の機会となっている。令和 5 (2023) 年度は、イギリスへの理解を深めるためイギリスの紅茶文化を紹介した。また、「はとカフェ」を開き、展示ポスターを見学しクイズに参加した人に飲み物（紅茶か珈琲）や焼き菓子（スコーン）を振る舞った。

ナショナル・ウィークは、イベント運営に携わる学生は勿論、一般参加する学生にとっても異文化に触れながら学生同士が交流する場になっている。

2. ポスタープレゼンテーション・コンテスト

学生の研究発表やコミュニケーション能力の育成を目的として、平成 29 (2017) 年度から開催している。近年は、令和 6 (2024) 年度開始の新カリキュラムでの専門科目「Graduation Project II」（選択必修・2年次秋学期）の到達目標である「世界の諸問題に関する文献や多文化共生に関する文献について英語で聞き取り概要を掴み、その後文献を読んで、英語でサマリをまとめ、それについて自分の意見を 5 パラグラフ以上のエッセイにまとめ、5 分間以上のプレゼンテーションを行い、質問に英語で答えることができる。」を意識したコンテストを企画・実施している。

令和 5 (2023) 年度は、「Global Issues and Cultures」という共通テーマについて、各クラスの代表者 3 人ずつ、計 12 人の学生がポスターを作成し、1 月 15 日（月）から 1 月 19 日（金）まで 4 号館 1 階に展示した。そして、展示最終日には、ポスタープレゼンテーション・コンテストを開催した。学生は英語で研究成果を発表し、審査の結果、上位 3 人の学生が表彰された。代表以外の学生も聴衆として参加し、ポスタープレゼンテーション後の質疑応答に積極的に参加している。

コンテストは、出場する学生の成長や学生同士の交流の場になっている。



ナショナル・ウィーク



ポスタープレゼンテーション・コンテスト